



# たきぐち学

令和元年第4回定例会は、12月3日から18日の日程で開催されました。「都民の就労の支援に係る施策の推進とソーシャルファームの創設の促進に関する条例」をはじめとする53件の議案を可決、さらに平成30年度の各会計決算および公営企業会計決算が、それぞれ認定議決されました。

## 厚生委員会 区の子童相談所開設後の支援を!

今年、**荒川区**、江戸川区、世田谷区で児童相談所が開設する予定です。これにともない、東京都児童相談所条例および関連条例の一部改正案が付託され、可決しました。



たきぐち学

児童相談所設置市区が担うべき事業に対する**都の補助金**の取り扱いはどうなるのか?



東京都



児童相談所設置市が処理する事務に関する補助事業等は、129事業・1,504億円(令和元年度当初予算)で、このうち保育サービス(50事業・961億円)については、現行通り**都が補助を継続する**。

児童相談所開設にともなって付随する事業への都の補助金が削られることのないよう求めてきました。保育所や保育士への支援をはじめとする**保育サービスに対する都の補助が継続されることは評価**。

たきぐち学

**児童福祉司**や**児童心理司**は、マンパワー不足による多忙な業務に加えて、保護者のやりとりなど心理的負担から精神疾患で休職するケースも多いと聞く。増員によって負担軽減を図ると同時に、採用した人材をいかに育成していくかが極めて重要。都が職員研修の機会を提供することや、中長期的には広域的な人材交流の仕組みを作ることで、**人材育成**が促進され、質の底上げを図ることにつながると考えるが見解は?

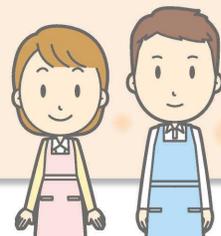


東京都



都と区市町村との合同検討会を立ち上げ、連携強化に向けた検討を進めており、人材育成についても検討。これを踏まえ、**区市町村派遣職員の受入枠の拡大**や**短期の実習の受入**、**合同研修の充実**などに取り組んでいく。

都において経験2年以下が52.5%、5年以上の児童福祉士は32.4%というのが実態。区児相開設後の合同研修などの機会の提供と中長期的には**広域的な人事ローテーションが組めるようなしくみの構築**を図るべき。



たきぐち学

区児相開設後も区と都の**定期的な情報共有会議**を提供していくべき。



東京都



児童相談所長や児童福祉司のスーパーバイザーなどの実務者会議の共同実施や、LGWAN(地方自治体を相互に接続する行政専用のネットワーク)等の活用で**情報共有**を実施する。また、警視庁や家庭裁判所、児童養護施設など**関係機関との代表者会議**への区児相からの参加も検討する。

痛ましい事件を繰り返してはいけない!

### たきぐち学の主張



- 区児相の開設は、法的に一時保護の権限を有する**児童相談所**とその権限を有しない**子ども家庭支援センター**という虐待通告に対応する二元体制によって生じている課題・弊害を解消・克服することに意義がある。
- これまでの過程から、区児相開設に向けた取り組みは、自治権拡充の議論と捉えがちだが、都区の自治権争いの話ではない。児童相談所の中核的機能は、戦後の**戦災孤児**への対応から**非行対応**、**虐待対応**と変化しており、今や、虐待対応は社会的要請。
- 区児相の安定的な運営のためには、**財政調整交付金**など何かしらの財源措置は不可欠。
- 目黒区の結愛ちゃん、野田市の心愛ちゃんの事件も、居住地と管轄する児童相談所の所在地が隣接する自治体にあったことは偶然の一致ではない。緊急対応が求められる際の、物理的、心理的距離感の近さが予防的対応の強さに結びつく。
- 同時に、**財政負担**や広域的な**里親委託**、**専門人材**の確保・育成、**人事異動**、**支援と介入**の分離、権限行使に慎重になる恐れなど、区児相が抱えるであろう課題、困難性を都との連携強化で克服することに注力すべき。

## 決算委員会 都政史上初めて、決算委員会に知事が出席

平成30年度各会計決算特別委員会において、**たきぐち学**が**委員長**の指名を受けました。地方議会において、予算と同様に決算も重要との認識のもと、**都政史上初めて**知事の出席を求め、**小池百合子都知事**および**4人の副知事**出席のもと、委員会質疑が行われました。

一般会計が歳入7兆5,156億円、歳出7兆2,348億円、16の特別会計が歳入5兆6,543億円、歳出5兆3,946億円の決算に対して、都有財産の利活用、防犯カメラの整備や防災対策、都営住宅や河川整備、省エネルギー対策、子育て支援・高齢者施策・障がい者施策など福祉・保健医療対策、中小企業支援や働き方改革、不登校対策、東京2020大会など都政全般にわたるテーマについて、活発な議論が行われました。質疑の結果、**全会一致および賛成多数で認定されました**。委員長として、議論の成果が予算に反映されるよう、引き続き効率的な事務運営に努められるよう要望しました。



▲全局質疑



◀本会議(最終日)委員長報告



## 代表質問

### 質問

都立高校など都立一時滞在施設の指定をより一層進めるとともに、住民向けの避難先として活用していくべき。

### 知事

浸水などのおそれがない場所に立地する都立一時滞在施設を、あらかじめ避難先として位置づけ、活用を図っていく。

### メモ 荒川区内の都立一時滞在施設

- 荒川都税事務所
- 首都大学東京荒川キャンパス
- 荒川工業高校



障がい者の就労支援施設や企業を視察

### 質問

ソーシャルファームの財政支援や相談体制の構築、都が発注する契約における優先的取り扱いなどの様々な支援施策を強力に推進するとともに、普及を進めるべき。

### 知事

ソーシャルファームの創設や活動に向けては、立ち上げ期における財政支援に加え、経営などの相談にワンストップで対応する支援拠点の設置や、都が発注する契約における優先的取り扱いについて検討していく。

### メモ ソーシャルファームとは?

障がい者、難病患者、高齢者、ひとり親、引きこもりやニート、刑務所出所者など、労働市場で就労の機会を得ることが困難な人や不利な立場に置かれている人を雇用するための「社会的企業」。



## 高齢ドライバー安全運転支援の9割補助 ~2020年8月まで!~

東京都 高齢者安全運転支援装置 検索

インターネットで検索

高齢ドライバーによる痛ましい交通事故が相次ぐ中、昨年7月末より「**ペダルの踏み間違い防止装置**」に**都が9割補助(上限10万円)**する支援策が実施されています。

2020年1月末現在、1万台を超える申請があり、新年度は3万台、15億円の予算(案)が示されています。**都内在住、70歳以上**などの要件あり。詳細はお問合せください。

### メモ 荒川区内の取り扱い事業者

- トヨタモビリティ東京 荒川店(荒川1丁目)
- (有)安生自動車修理工場(西日暮里2丁目)
- (有)カラキモータース(西日暮里3丁目)
- 田中自動車販売(株)(西日暮里6丁目)
- 野坂自動車販売(株)(西尾久3丁目)
- (有)小平モータース(西尾久7丁目)
- (有)フジ自動車(西尾久8丁目)
- (有)竹内自動車ホデー工場(東日暮里1丁目)
- (有)西山モータース(東日暮里5丁目)
- 江澤自動車(株)(南千住3丁目)

## 新年度予算案

東京都 令和2年度予算 検索

インターネットで検索

東京都の**令和2年度(2020年度)予算案**が発表されました。

一般会計の総額は過去2番目の規模となる7兆3,540億円。新規事業は420件で史上最多。都議会第一回定例会(2/19開会)、予算特別委員会等で、審議します。



## 「出前都議会報告」「都議会見学」

町会や会合などで、都政・都議会の話を知りたい!というご要望があれば、荒川区内のどこへでも参ります。また、ご友人と都議会を見学したい!という方もお気軽にご連絡ください。

FAX 03-6382-8867 Eメール info@t-gaku.com

## たきぐち学事務所

〒116-0014  
東京都荒川区東日暮里4-20-7

電話 03(6382)8866

ご意見・ご要望をお寄せください

たきぐち学

検索